

南ユタ短期留学プログラム

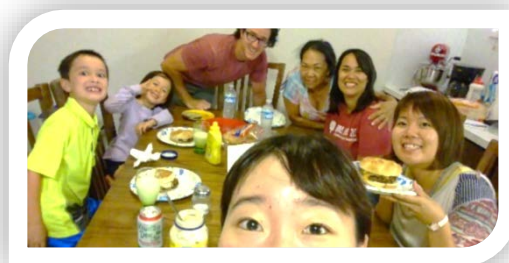
私は8月31日～9月25日の期間ユタ州 Southern Utah University (SUU)にて短期留学をしてきました。自分の住む環境とは違う“異文化”を自分の目を通して、肌で感じたいと以前から思っており、中でも憧れの地であったアメリカに行きたいという気持ちが強まり今回の参加を決めました。

ユタ州はアメリカ西部・内陸部に位置しており、360度山々に囲まれた地です。現地に到着したのは夕方滞在先の Cedar City まで車で3時間程の道のりでしたが、いまだかつて見たことない大きな山々、空は高く感じ星輝き、澄んだ空気…着いて早々見る景色すべてが私を驚かせてくれました。

現地に到着するまでホームステイ先がどこなのか何一つ情報がなかったので、期待と不安感が半々ずつありましたが、私のホストファミリー Hunt 家の皆さんは温かく迎え入れてくれ、その時これから4週間が楽しいものになるであろうと確信しました。



The Hunt Family



最初の週末は3ヵ国(日・韓・中)合同でブライスカニオン国立公園を訪れました。道中もさすがはアメリカ、道路は広く大きなトレーラーが走り、雲一つない青空がどこまでも続き心が弾みました。私は洋楽の中でも Country Music のジャンルが大好きでよく聴くので、そこに広がる景色は自分の世界観にぴったりでワクワクがとまりませんでした。また眼下に広がる景色は言いようのない絶景で言葉を失いました。行く前から本やネットで見ていましたが、これはその場に立たないと味わうことのできない感動でした。ユタにはブライスカニオンをはじめ多くの国立公園が存在し、大自然に囲まれ空気もよく、時間の流れもゆったりと感じられます。最高の一時でした。



Bryce Canyon National Park

大学での授業は「クラス分けテストが行われ4技能をバランスよく習得できるプログラム」ということを事前に聞いていたので語学勉強にも熱が入る!と意気込んでいたのですが、午前中は与えられたテーマに対するプレゼンをするための準備作業(PCでのスライド作成や工作等)“勉強をする”というより“発信する力を身につける、創造性

豊かに表現する”というものでした。工作には正直「日本でもできることなのに…」といったもどかしさがあり最初は戸惑いでしたが、今の自分に足りないところ一、それは“いかに他者に伝えるか、豊かな表現力”であると痛感し、苦手としていた人前での発表を克服することにもつながりました。発表は小学校へ赴き日本の伝統文化の紹介や、大学の教育学部の皆さんと日本の職業及び給与に関するディスカッションを交えた機会を与えていただき、英語力が向上したかは別として、自信がついたという点で非常に意義のある授業でした。



ディスカッションの様子

午後からは先生からメールで送られてくるテーマに対して自分の考えをまとめ、韓国人留学生と討論をしました。こちらも特別先生

から“教わる”という形式ではなく、今ある能力で相手に自分の意見を発信するというものでした。自分の語彙力の無さには最初失望しましたが、自分の考えをどうしたらうまく相手に伝わるかということを思いながらディ

スカッションができ、毎回楽しいひと時でした。授業の一環としてオモチャを製造している会社を訪問しニス塗り体験をしたり、週末に市のマラソン大会をみんなで観に行ったりしたことも良い思い出です。



小学校にて日本の文化紹介

キャンパスでは、モルモン教布教のため来日経験があり、日本語を話せる学生や、偶然の出会いで話しかけ仲良くなった学生、学内のイベントに参加して連絡先を交換したりなどたくさんの人と出会い友達になれたことは宝だと思います。

また SUU キャンパス内は素晴らしい施設が完備されてお



似顔絵を描いてプレゼント!! Thank you

り、やりたいと思ったことは何でもチャレンジしました。スカッシュにクライミングに綺麗な芝生の上で日向ぼっこ…空き時間も充実していました。

帰宅後はかわいい2人の子供たちと童心に返って遊び、夕飯は隣のおばあちゃんのお家でみんな揃って食べ、週末は国立公園やSUUのフットボール観戦、映画館へ連れてってもらったりと、家族と過ごした日々は一秒たりとも無駄にでき



クライミング

ないほど幸せな時間でした。また家庭を通して日本とアメリカの生活や文化の違いを発見する毎日は刺激的で、より異文化への興味が深まりました。

私はこの短期留学中、五感をフルに使い多くの収穫を得て帰国することができたと思います。それは語学だけではなく、世界を違う角度から見るということや、自身の価値観を見つめなおすということです。語学学習は自分の意思さえあればどこでも行うことができます。重要なのは現地空気のもと現地の人々と交流し生活を共にすることで初めてわかることを体験し、考えを持ち、人生にその経験を活かしていくことだと思います。他言語でいつもとは違う環境だと気後れしてしまいがちですが、それはもったいないことです。失敗を恐れることなく何事もチャレンジの精神で挑戦すること。その大切さと“楽しさ”を学んだことが一番の収穫だったかもしれません。大袈裟かもしれませんが今回の短期留学は進路を選択する重要な岐路に立っている今の私に少なからず影響を与えました。そんなユタにあなたも行ってみませんか。ユタの魅力及び私が今回体験してきたことについて皆さん、特に今後参加を希望される方の役に立てれば幸いです。



家族と Zion National Park にて

SUUの先生方、Hunt家の皆さん、4週間を共に過ごした仲間、そしてプログラムを支援してくださった国際課の方に感謝いたします。ありがとうございました。



折り紙で大好きなピカチュウを



Thank you!!!